

Kansai Economic Insight Monthly

2017/5/23

Vol.49 April/May

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第 4 週火曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet・生田祐介(各 APIR 研究員)及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の 2 府 4 県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
関西経済のトレンドと CI, CLI	2
景気の現況	3
関空モニター	9
中国景気モニター	10
主要月次統計	13
Release Calendar	14

要旨

-景気は足下、先行きともに改善が続く*-

- ✓ 3月の鉱工業生産指数は2カ月ぶりに前月から低下したものの、1-3月期は前期比+1.8%と5四半期連続の拡大。これは、2009年4-6月期から11年1-3月期以来の拡大である。
- ✓ 4月の輸出は3カ月連続の前年比増加、輸入も2カ月連続で同増加。輸入の伸びが輸出の伸びを上回ったため、貿易収支は3カ月連続の黒字だが、黒字幅は3カ月ぶりに縮小した。
- ✓ 4月の消費者態度指数は5カ月ぶり、景気ウォッチャー現状判断DIは4カ月連続の悪化。インバウンド関連需要に加え、猛暑の予想もあり、先行き見通しは2カ月ぶりに改善した。
- ✓ 2月の関西2府4県の現金給与総額は3カ月ぶりに減少、2月の「関西コア」賃金指数も2カ月連続で悪化。賃金は再び減少している。
- ✓ 3月の大型小売店販売額は8カ月連続の前年比マイナス。訪日外国人向けの販売は依然として堅調であるが、低温の影響で春物衣料が不振となり、販売が落ち込んだ。
- ✓ 3月の新設住宅着工戸数は2カ月連続の前年比減少。貸家は堅調であったものの、持家および分譲は減少した。
- ✓ 3月の有効求人倍率は前月比小幅上昇し、2カ月連続の改善。依然として高水準である。新規求人倍率は2カ月ぶりに下落したものの、前月の反動であろう。完全失業率は前月比横ばいで、雇用環境は引き続き好調である。
- ✓ 4月の公共工事請負金額は7カ月連続の前年比マイナスだが、前月比では3カ月連続プラスとなっており、補正予算の効果が出てきた。
- ✓ 4月の関空への訪日外客数は63万2,120人と2カ月連続で増加し、歴史的な高水準となった。春の行楽シーズンと、今年はGWの日並びが良かったこと等が背景にあるとみられる。
- ✓ 中国4月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は3カ月ぶりの前月比悪化。鉱工業生産も減速が目立つ。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦関西学院大学教授)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。
関西全体のCI、試作CLIの推移は2ページを参照。

【関西経済のトレンド】

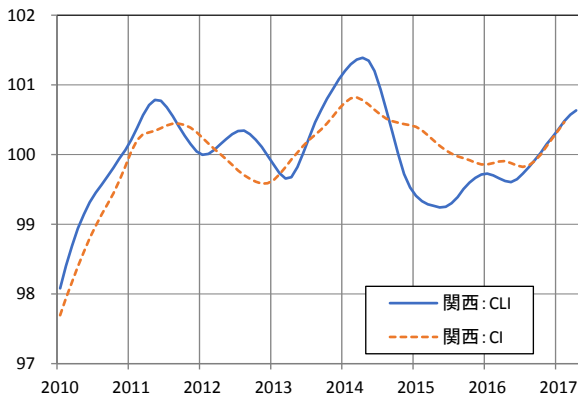
	2016年										2017年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
生産	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↘		
貿易	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	
センチメント	↗	↗	↘	↗	↘	↘	↗	↗	↗	↘	↗	↘	↗	
消費	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↘	↘		
住宅	↗	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗		
雇用	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗		
公共工事	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	
中国	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	

(*トレンドの判断基準)

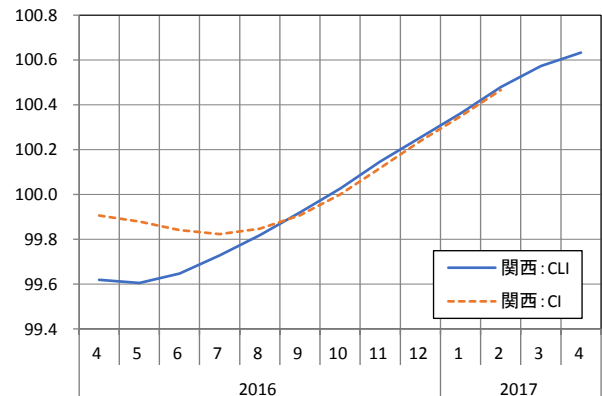
- ・ **生産**: 近畿経済産業局『近畿地域鉱工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **貿易**: 大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から500億円以上の改善は上向き、同500億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **センチメント**: 内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DIが前月比で1ポイント以上の改善は上向き、1ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **消費**: 近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で1%以上増加していれば上向き、同1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **住宅**: 国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **雇用**: 厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で0.01ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01ポイント以上の悪化は下向きとする。
- ・ **公共工事**: 西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。

【関西の景気動向指数(CI一致指数・試作 CLI)の推移】

CI一致指数・試作 CLI の推移(2010年1月～2017年4月まで)



直近1年間の推移(2016年4月～2017年4月まで)



【鉱工業生産動向】

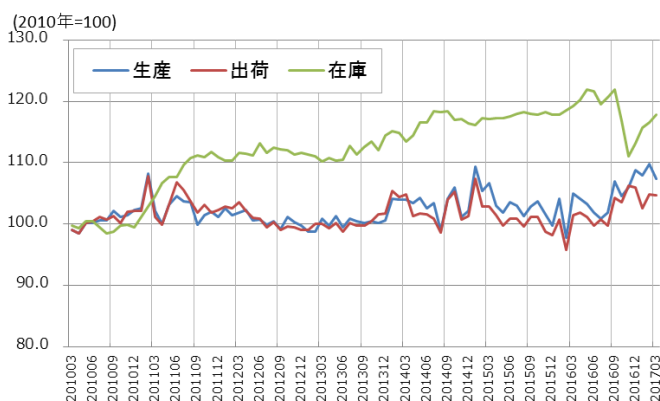
(1) 関西の生産動向

3月関西の鉱工業指数(速報値：季節調整済、2010年=100)を見ると、生産は107.4で、前月比-2.2%と2カ月ぶりの下落。出荷は104.7で同-0.1%と小幅低下し2カ月ぶりのマイナス。在庫は117.9で同+1.1%と4カ月連続の上昇。なお、生産と強い関係がある実質輸出(季節調整済、2010年=100)は108.1で、3月は同-8.4%と2カ月ぶりに減少した。

業種別に生産指数をみると、金属製品(前月比-9.5%、4カ月ぶり)、電子部品・デバイス(同-6.3%、2カ月ぶり)、情報通信機械(同-7.4%、2カ月連続)等が減産となった。一方、輸送機械(除、航空機・鋼船・鉄道車両)(同+2.9%、2カ月連続)、電気機械(同+1.3%、3カ月ぶり)、その他(同+1.5%、2カ月連続)等が増産となった。

結果、1-3月期の生産は前期比+1.8%と前期(同+3.1%)より減速したものの、5四半期連続で拡大している。これは、8四半期連続で拡大した2009年4-6月期から11年1-3月期以来である。近経局は「総じてみれば、生産は持ち直しの動きで推移している」と判断している。

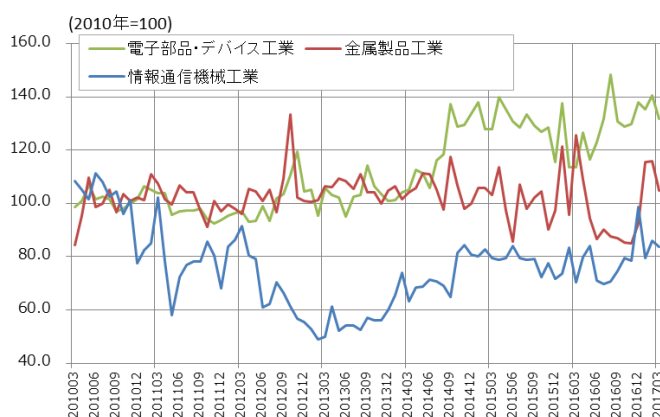
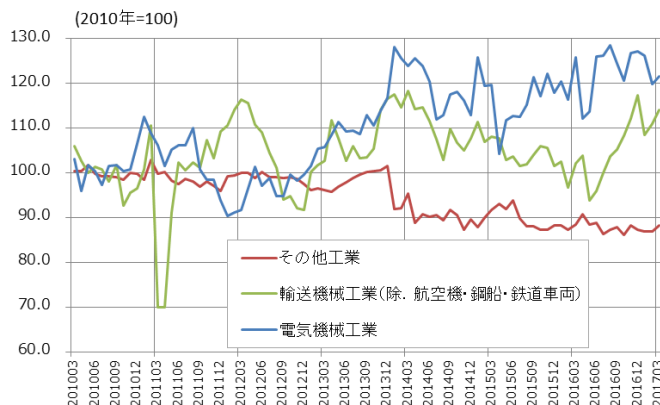
関西の鉱工業指数の推移(2017年3月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

関西の業種別生産指数の推移(2017年3月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

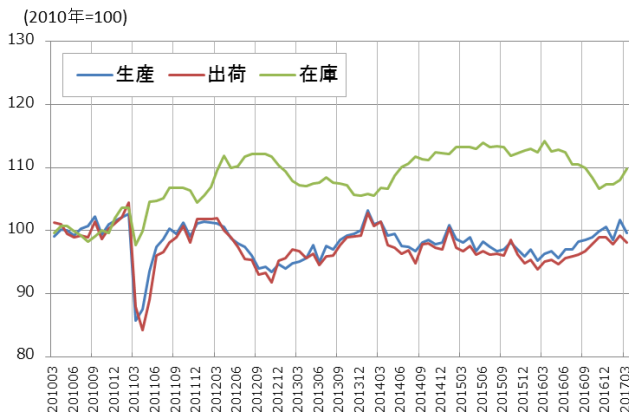
(2) 全国の生産動向

3月全国の鉱工業指数(確報値：季節調整済、2010年=100)を見ると、生産は99.8となり前月比-1.9%と2カ月ぶりの下落。出荷は98.4で同-0.8%と2カ月ぶりの下落。在庫は109.7で同+1.5%と4カ月連続で上昇した。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前月比-5.9%)、電子部品・デバイス(同-4.8%)、輸送機械(同-1.1%)等は減産となった。一方、情報通信機械(同+4.3%)、パルプ・紙・紙加工品(同+1.9%)、繊維(同+1.0%)等が増産となった。

製造工業生産予測調査によると、4月は前月比+8.9%の増産、5月は同-3.7%と減産が予測されている。生産は、前月比で減少したものの、4四半期連続で拡大しており、関西同様、生産に持ち直しの動きが見られる。

全国の鉱工業指数の推移(2017年3月まで)



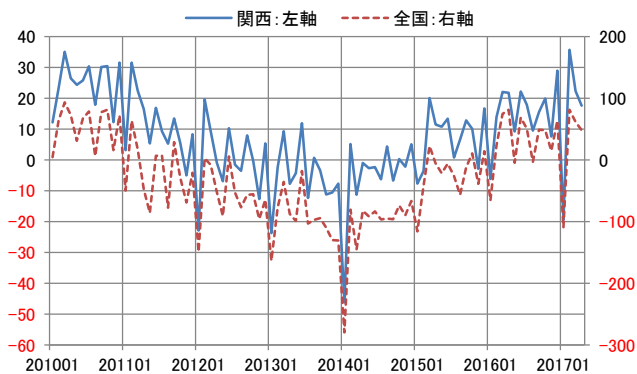
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、関西4月の貿易収支は+1,755億円と3カ月連続の黒字となったものの、前年同月比-19.2%と黒字幅は3カ月ぶりに縮小した。全国の貿易収支(速報値)は+4,817億円とこちらも3カ月連続の黒字となったものの、同-40.6%縮小した。

関西・全国の貿易収支の推移(100億円, 2017年4月まで)



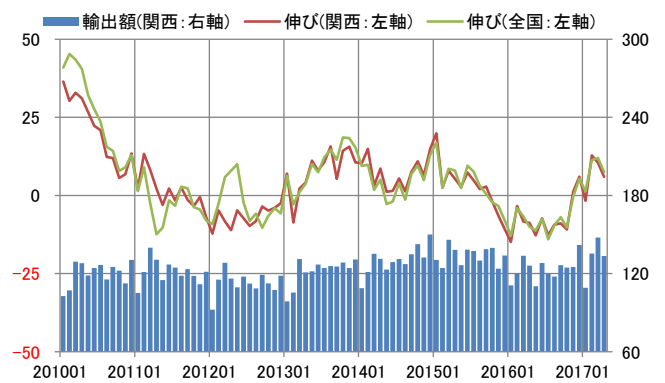
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(2) 輸出

関西4月の輸出額(速報値)は1兆3,357億円で前年同月比+5.9%と3カ月連続の増加。財別に見れば、半導体等製造装置、科学光学機器が増加した。

全国4月の輸出額(速報値)は6兆3,292億円、前年同月比+7.5%と5カ月連続の増加。財別に見れば、半導体等製造装置、鉄鋼、原動機が増加した。

関西・全国の輸出の推移(100億円, 前年同月比, 2017年4月まで)



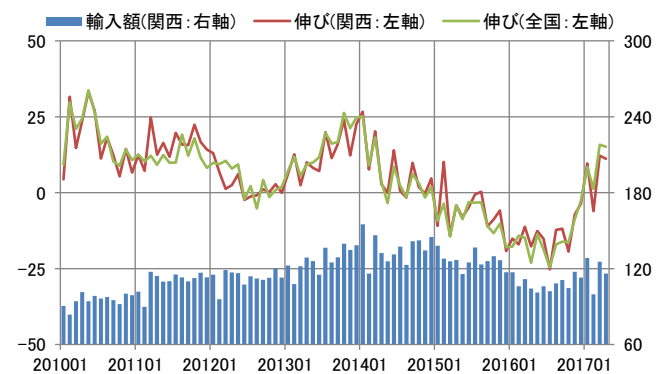
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西4月の輸入額(速報値)は1兆1,602億円、伸びは前年同月比+11.2%と2カ月連続の増加。財別に見れば、通信機、天然ガス及び製造ガスが増加した。

全国4月の輸入額(速報値)は5兆8,475億円、前年同月比+15.1%と4カ月連続の増加。財別に見れば、原油、石炭、通信機の輸入が増加した。

関西・全国の輸入の推移(100億円, 前年同月比, 2017年4月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西4月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア(含中国)貿易収支は+2,620億円と3カ月連続の黒字となり、前年同月比+15.0%改善した。輸出は3カ月連続の増加(同+9.4%)。財別に見れば、半導体等製造装置、科学光学機器等が増加した。一方、輸入は2カ月連続の増加(同+7.4%)。財別に見ると、通信機、天然ガス及び製造ガス等が増加した。

うち、対中貿易収支は-497億円と2カ月連続の赤字となった。輸出は6カ月連続の増加(前年同月比+12.6%)。財別に見ると、科学光学機器、半導体等電子部品等が増加した。輸入は2カ月連続の増加(同+11.7%)。財別に見ると、通信機、がん具及び遊戯用具等が増加した。

対米貿易収支は+633億円の黒字となったものの、伸びは2カ月連続で減少した(前年同月比-21.0%)。うち、輸出は3カ月ぶりの減少(同-3.0%)。財別に見れば、鉄鋼、映像機器等が減少した。輸入は5カ月連続の増加(同+12.2%)。財別に見れば、有機化合物、半導体等製造装置等が増加した。

対EU貿易収支は-5億円と3カ月ぶりの赤字となった。輸出は3カ月ぶりの減少(前年同月比-0.8%)。財別に見れば、電機計測機器、有機化合物等が減少した。輸入は2カ月連続の増加(同+12.6%)。財別に見れば、たばこ、有機化合物等が増加した。

【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

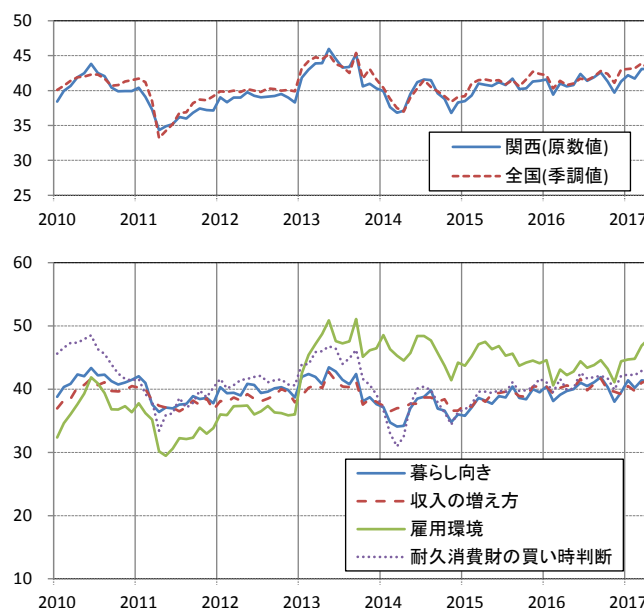
関西の4月の消費者態度指数(原数値)は43.1と前月比横ばい。また、全国(季節調整値)は-0.7ポイント低下し43.2となり、5カ月ぶりの悪化であった。

全国と同指数の構成項目を見ると、雇用環境を除く3指標が前月から悪化した。内訳をみると、「雇用環境」は前月比で+0.8ポイント上昇した一方で、「耐久消費財の買い時判断」は同-1.6ポイント、「暮らし向き」は同-1.2ポイント、「収入の増え方」は同-0.8ポイント低下した。国民健康保険を始めとする保険料や食料品、日用品の値上げを受けて物価上昇への警戒感が強まったこと、株価下落に伴う負の資産効果による悪影響が懸念されたことなどが悪化に寄与した。センチメントは5カ月ぶりに悪化したものの、3カ月移動平均で前月を上回ったことから、内閣府は消費者心理の基調判断は「持ち直している」として据え置いた。

また、関西について同指数構成項目の内訳を見ると、「雇用環境」が前月比+1.0ポイント、「収入の増え方」が同+0.4

ポイントそれぞれ上昇した。一方、「耐久消費財の買い時判断」は同-1.1ポイント、「暮らし向き」は同-0.2ポイント低下した。関西でも、食料品等の値上げによる生活環境への悪影響はあったものの、雇用環境や収入の増加への期待もあり、全体では横ばいであった。

消費者態度指数(2017年4月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

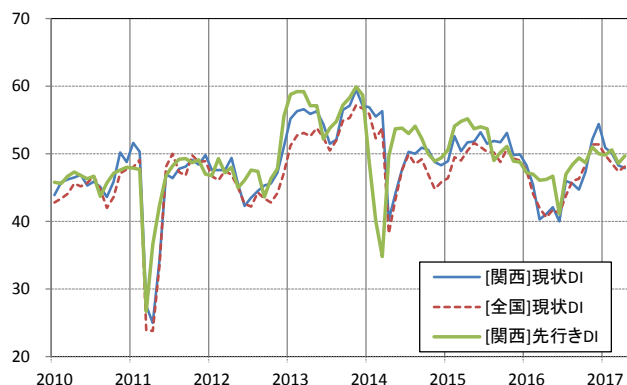
関西の4月の現状判断DI(季節調整値)は47.9と前月比-0.4ポイント低下し、4カ月連続の悪化。景況感の良し悪しの分かれ目となる50を2カ月連続で下回った。背景として、天候要因や気温要因、春の行楽シーズンによるインバウンド関連需要などが景況感の改善に寄与したものの、依然として消費者の節約志向が強いことに加え、北朝鮮を始めとする海外情勢を不安視するコメントも多く、全体では悪化した。

一方、全国は48.1で同+0.7ポイント上昇し、5カ月ぶりに改善した。

また、先行き判断DI(季節調整値)は、関西では49.7と前月比+1.1ポイント上昇し、2カ月ぶりの改善。海外情勢について不安視するコメントは多いものの、堅調なインバウンド関連需要に加え、猛暑の予想による季節商品の売上増加へ

の期待から、先行きは改善が見込まれている。全国は 48.8 と同+0.7 ポイント上昇し、2 カ月ぶりの改善であった。

景気ウォッチャー調査(2017年4月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

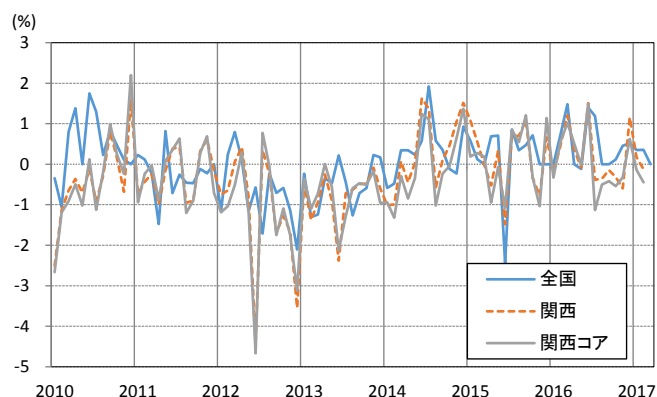
(1) 現金給与総額

2月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は25万7,763円で前年同月比-0.1%となり、3カ月ぶりの減少。府県別では、奈良県が同+4.7%(3カ月連続)、兵庫県が同+1.8%(5カ月連続)、京都府が同+1.1%(2カ月ぶり)、滋賀県が同+0.8%(3カ月連続)、和歌山県が同+0.1%(2カ月ぶり)の増加となった。一方、大阪府は同-1.9%と8カ月連続で減少が続いている。また、2月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR推計)は同-0.4%減少し、2カ月連続の悪化。賃金は再び減少している。

全国(確報値)の現金給与総額をみると、3月は前年同月比で横ばいであった。内訳をみると、所定内給与は同-0.1%と10カ月ぶりのマイナス。所定外給与は同-0.6%と2カ月ぶりのマイナス。特別給与は同+1.7%と2カ月連続のプラスであった。

また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は前年同月比-0.3%と2カ月ぶりに減少した。速報値(同-0.8%)に比べて上方修正されたものの、賃金の伸びは低調である。

現金給与総額(前年同月比、2017年3月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(2011年平均)で加重平均。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

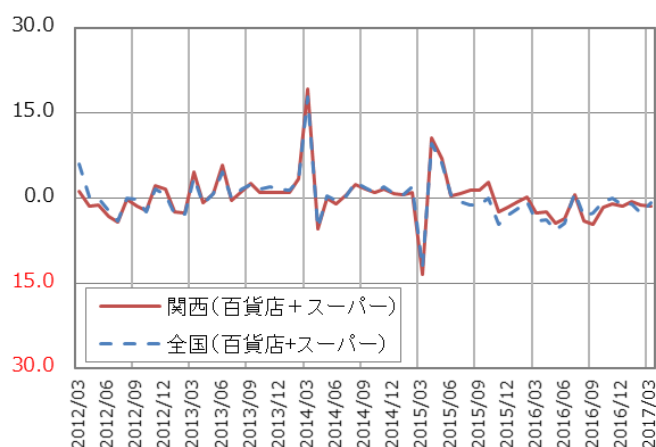
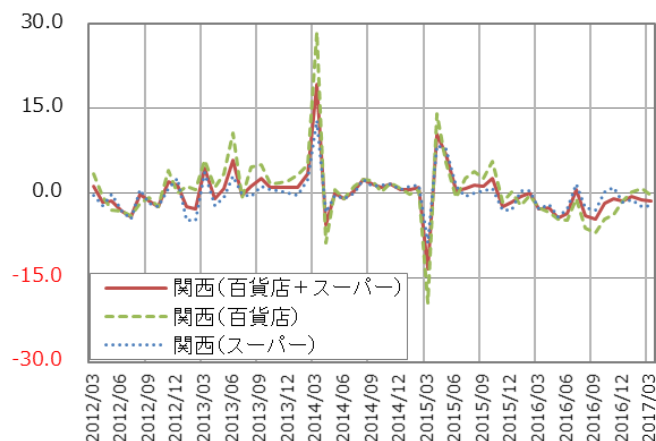
(2) 大型小売店販売額

関西3月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は3,138億円となり、前年同月比-1.4%と8カ月連続のマイナス。百貨店は同-0.3%減少し、3カ月ぶりのマイナス。スーパーは同-2.1%と4カ月連続のマイナス。3月の百貨店・スーパーの販売額は、訪日外国人に対する販売が好調であったが、気温が低めであり春物衣料が不調であったこともあり、前年比で減少した。

全国3月の大型小売店販売額(全店ベース)は1兆6,311億円と、前年同月比-0.9%と8カ月連続の減少であった。なお、百貨店は同-1.7%と13カ月連続のマイナス、スーパーは同-0.5%と4カ月連続のマイナス。前月同様、経済産業省は小売業販売額(季節調整済)のトレンドは「持ち直しの動きがみられる」としている。

なお、百貨店免税売上(日銀大阪支店)によると、3月は前年同月比+46.4%(前月+27.0%)と4カ月連続で二桁の伸びを示しており、インバウンド需要が依然として大きい。

大型小売店販売額(前年同月比：%、2017年3月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

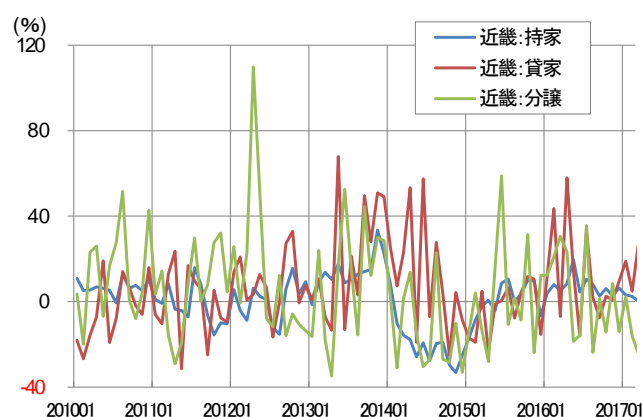
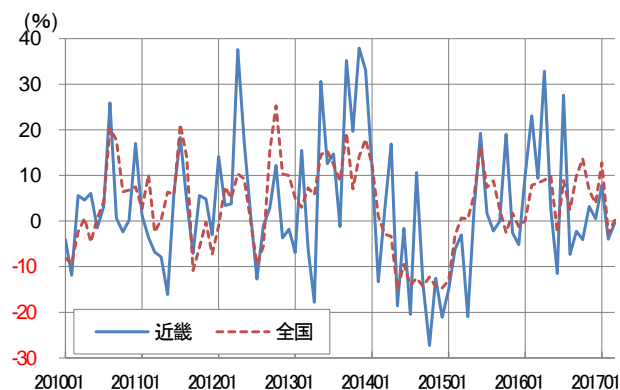
(3) 新設住宅着工の動向

関西3月の新設住宅着工戸数は11,795戸と前年同月比-0.4%となり、2カ月連続の減少。全国は75,887戸と同0.2%増加し、2カ月ぶりのプラスとなった。

関西の住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家は2,719戸で前年同月比-0.1%と15カ月ぶりのマイナス。分譲は3,561戸と同-24.7%大幅減少し、2カ月連続のマイナス。一方、貸家は5,413戸で同+28.7%と6カ月連続のプラス。

4月の関西のマンション契約率は78.3%(季節調整値、APIR 推計)。好不調の目安となる70%を7カ月連続で上回り、3カ月ぶりの前月比改善。一方、首都圏は66.5%(季節調整値、APIR 推計)と2カ月ぶりに同改善した。引き続き、今後の動向を注視する必要がある。

新設住宅着工戸数(前年同月比：2017年3月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

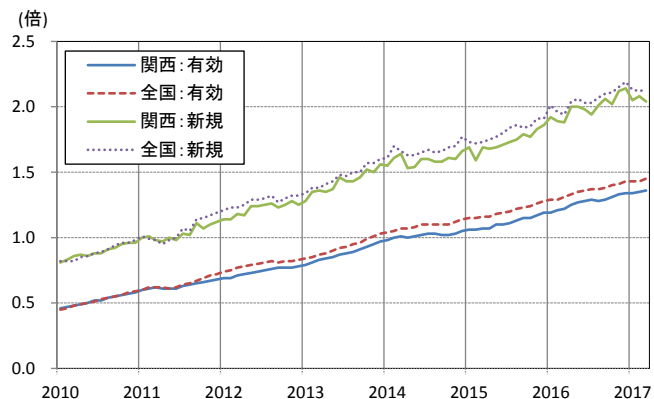
3月の関西の有効求人倍率は、1.36倍で前月比+0.01ポイント小幅上昇し、2カ月連続の改善。依然として高水準が続いている。また、同月の全国は1.45倍で同+0.02ポイント小幅上昇し、3カ月ぶりの改善。バブル期の1990年11月(1.45倍)と同水準となっており、雇用情勢は好調である。

有効求人倍率を府県別にみると、大阪府で前月比+0.02ポイント、兵庫県で同+0.01ポイント小幅上昇した。一方、京都府・和歌山県では同横ばい、滋賀県・奈良県では同-0.01ポイント小幅下落した。

3月の関西の新規求人倍率は、2.04倍で前月比-0.04ポイントと2カ月ぶりの下落。新規求人数が同-2.5%減少したことによるものだが、前月(同+3.1%)の反動であろう。先行きの雇用環境も好調で推移しているとみられる。また、3月の

全国は2.13倍で同+0.01ポイント小幅上昇し、3カ月ぶりの改善であった。

求人倍率の推移(季節調整値、2017年3月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西2府4県有効求人倍率(2017年2-3月)

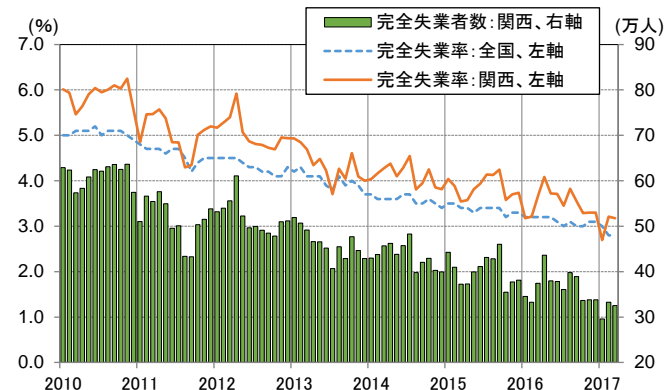
	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
3月	1.45	1.36	1.20	1.45	1.47	1.23	1.21	1.21
2月	1.43	1.35	1.21	1.45	1.45	1.22	1.22	1.21

(2) 完全失業率の推移

3月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR推計)は3.2%と前月比横ばい。内訳をみると、労働力人口が減少した一方で、就業者数が増加していたことから、雇用環境は引き続き好調であるとみられる。

関西の完全失業者数(季節調整値:APIR推計)は32.5万人で前月から-0.7万人減少し、2カ月ぶりの改善であった。

完全失業率の推移(季節調整値、2017年3月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

全国の完全失業率(季節調整値)は2.8%と、こちらも前月比横ばいで、極めて低水準の状態が続いている。

全国の完全失業者数(季節調整値)は184万人で前月から-6万人減少し、3カ月連続の改善。内訳をみると、男性では失業者数が同-7万人減少した一方で、就業者が同+6万人増加しており、就業に結びついているとみられ、雇用情勢は堅調といえよう。

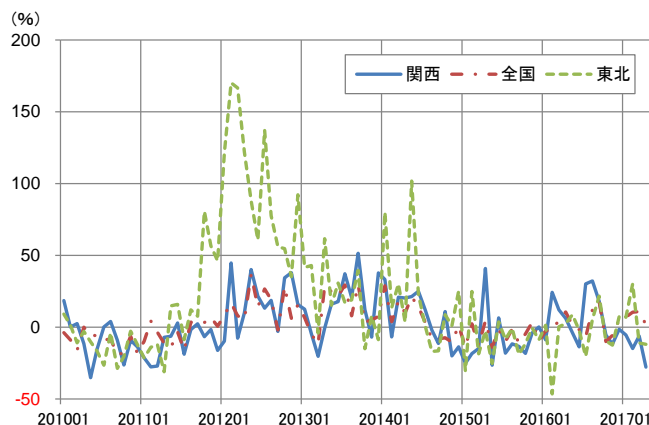
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

関西4月の公共工事請負金額は2,018億円で前年同月比-27.8%と7カ月連続の減少。全国は2兆646億円で同+1.7%と5カ月連続の増加。東北は3,267億円で同-11.9%と2カ月連続のマイナス。

季節調整値(APIR推計)で見ると、関西は前月比+19.5%となり、3カ月連続のプラス。一方、全国は同+7.4%と6カ月連続のプラスとなった。関西公共工事請負金額は前年比大幅なマイナスとなったものの、前月比では大幅なプラスとなり、補正予算の効果が出ているようである。

公共工事請負金額(前年同月比、2017年4月まで)



(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

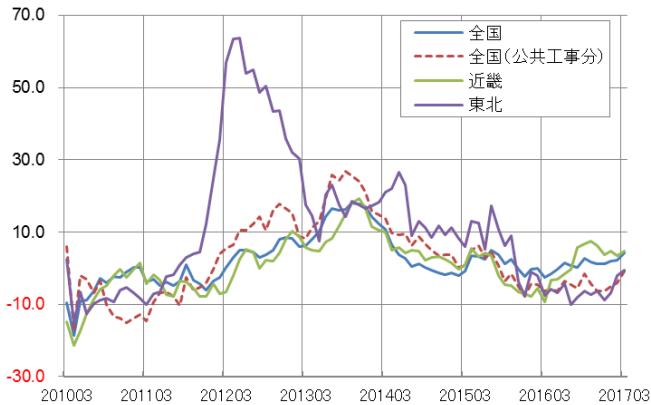
(2) 建設工事

関西3月の建設工事出来高は5,453億円で、前年同月比+4.8%と8カ月連続の増加。東北については6,224億円で、同-0.5%と17カ月連続の減少。

全国3月の建設工事出来高は4兆5,967億円となり、前年同月比+4.2%と10カ月連続の増加。うち、公共工事は1

兆 9,870 億円で、19 カ月連続の前年比マイナスだが、同 -0.8%の小幅減少にとどまった。関西の建設工事は、全国と同様堅調が続いている。

建設工事(前年同月比：％、2017年3月まで)



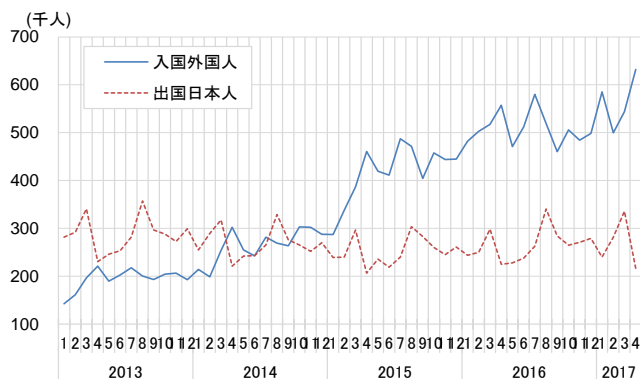
(出所) 国土交通省「建設総合統計」

【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

4月の関空への訪日外客数は63万2,120人となり、前年同月比+13.5%と2カ連続で増加しており、歴史的な高水準となった。一方、出国外国人数は65万210人と同+9.9%増加しており、外国人旅客総数(出入国合計)は128万2,330人と同+11.6%増加した。春の行楽シーズンであったことに加え、今年はGWの日並びが良く、外国人の出入国者数が増加したことなどが背景にあるとみられる。

訪日外客数と出国日本人数(2017年4月まで)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

また、出国日本人数は21万6,490人で、前年同月比-3.8%

と3カ月ぶりに減少した。訪日外客数に上昇トレンドが見られるが、出国日本人数は横ばいとなっている。

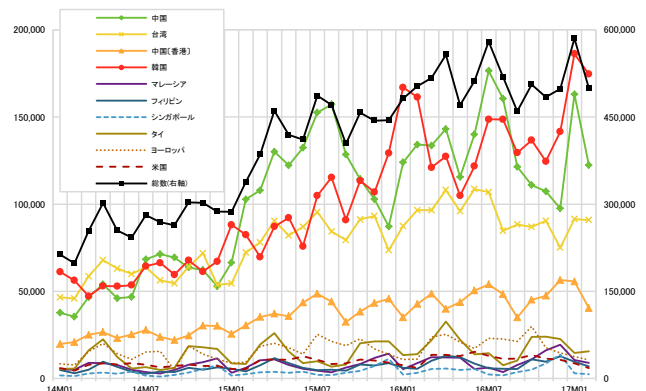
(2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、2月は韓国からの入国者数が17万4,532人と6カ月連続で最も多く、前年同月比+8.2%と32カ月連続のプラスとなった。次いで、中国(香港除く)が12万2,359人と4カ月ぶりのマイナス(同-8.8%)。台湾が9万882人と、3カ月ぶりのマイナス(同-5.9%)。また、中国(香港)が4万332人(同-5.6%)であった。

他のアジア各国からの入国者数は、タイが1万5,567人(前年同月比+11.0%)、マレーシアが8,988人(同+1.5%)、フィリピンが6,940人(同+25.1%)、シンガポールが2,492人(同-23.4%)、となった。

他地域を見ると、ヨーロッパが1万538人(前年同月比-5.2%)、米国が5,961人(同-2.4%)であった。

地域別訪日外客数(2017年2月：人、右軸：総数、左軸：各国)

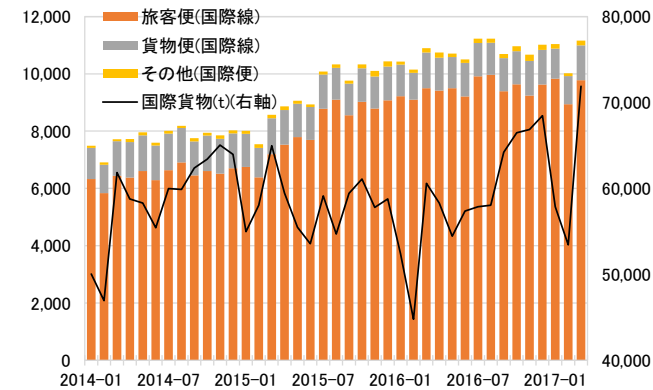


(出所) 法務省「出入国管理統計」

(3) 旅客・貨物便数トレンド

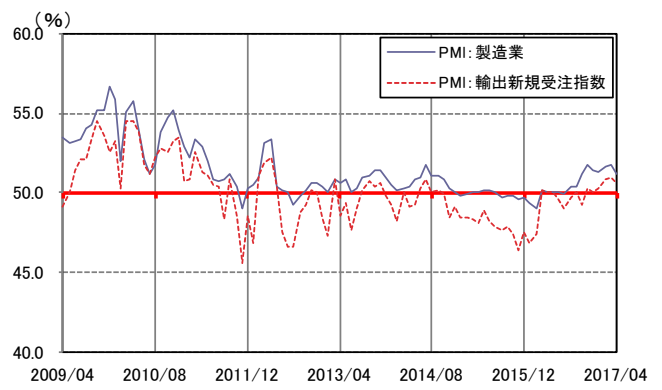
3月の総合便数(旅客・貨物合計)は1万1,163便となり、前年同月比+2.4%と2カ月ぶりに増加した。うち、国際線旅客便数は9,775便と2カ月ぶりに増加した(同+2.9%)。国際貨物便は1,217便と、2カ月ぶりの減少(同-1.9%)。その他は171便で2カ月ぶりの増加であった(同+9.6%)。また、貨物便を重量ベースで見ると、3月は7万1,892トンとなり、同+18.7%と8カ月連続の増加となった。

国際便数(左軸)・貨物(右軸)(2017年3月まで)



(出所) 新関西国際空港株式会社「運営概況ニュースリリース」

中国製造業購買担当者景況指数(2017年4月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

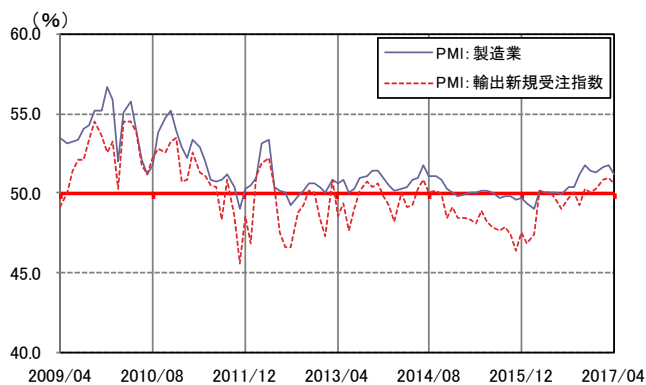
【中国景気モニター】

(1) センチメント

4月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は51.2となり、前月から-0.6ポイント低下し、3カ月ぶりの悪化。また、非製造業購買担当者景況指数は54.0となり、前月より-1.1ポイント低下し、2カ月ぶりに悪化した。

製造業 PMIのうち、生産指数は53.8となり、前月比-0.4ポイント下落(3カ月ぶり)。輸出新規受注指数は50.6となり、同-0.4ポイント下落(4カ月ぶり)。雇用指数は49.2となり、同-0.8ポイント下落した(4カ月ぶり)。

中国非製造業購買担当者景況指数(2017年4月まで)



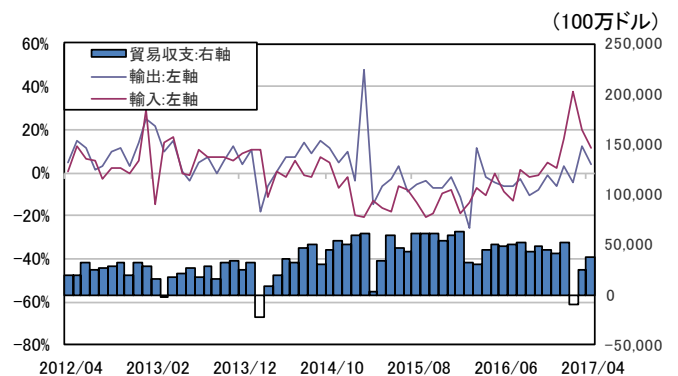
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(2) 貿易動向

4月の貿易収支は+380.5億ドルで、黒字幅は前年同月より75.1億ドル縮小した。9カ月連続で縮小が続いている。うち、輸出額(速報値、ドル・ベース)は1,800.0億ドルとなり、同+4.2%増加し、2カ月連続のプラス。輸入額は1,419.6億ドルとなり、同+11.6%増加し、6カ月連続のプラスとなった。

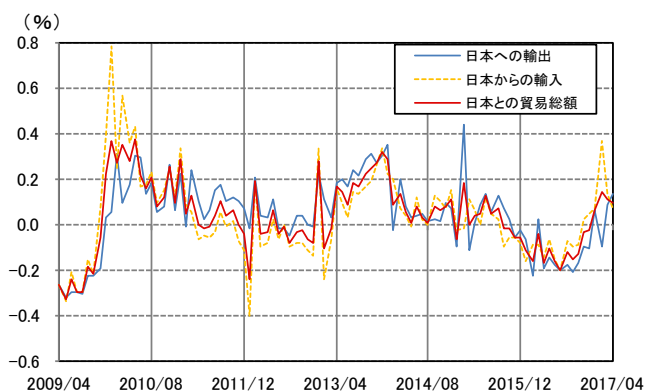
うち、対日貿易収支は-18.8億ドルとなり、3カ月連続の赤字となった。対日輸出額は112.1億ドルとなり、前年同月比+13.3%と2カ月連続のプラス。一方、対日輸入額は130.8億ドルとなり、同+6.9%と9カ月連続のプラス。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同+13.4%と、2カ月連続のプラス。対日輸入額は同+7.1%と、6カ月連続のプラスであった。

中国の貿易動向(前年同月比:ドル・ベース)(2017年4月まで)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

日本との貿易(前年同月比：円ベース) (2017年4月まで)



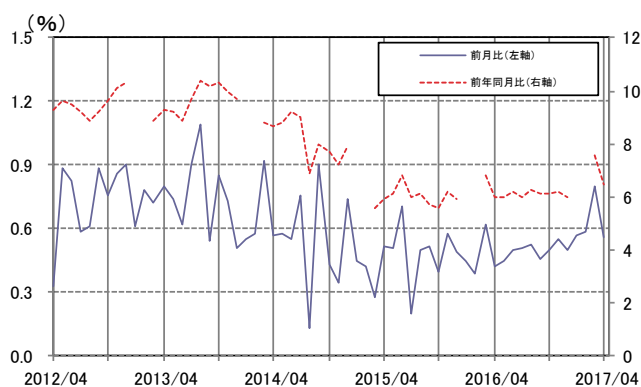
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(3) 工業生産

4月の工業生産は前月比+0.56%となり、前月(同+0.8%)から-0.24%ポイント下落した。また、前年同月比では+6.5%となり、前月(同+7.6%)より-1.1%ポイント伸びが下落した。

産業別に見ると、パソコン・通信設備製造業(前年同月比+13.0%)、専用設備製造業(+12.0%)、医薬製造業(同+11.9%)、などが高い伸びを示す一方で、鉄鋼などの精錬・圧延加工業(同+0.2%)、有色金属圧延加工業(同+1.4%)、繊維工業(同+3.9%)、化学原料・化学製品製造業(同+3.9%)などは比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2017年4月まで)



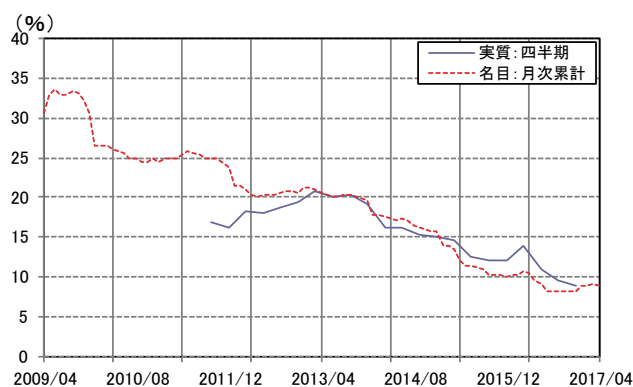
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 固定資産投資

1-4 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同月比+8.9%となり、伸びは1-3 月期(+9.2%)より-0.3%ポイント下落した。

産業別に見ると、第1 次産業は前年同月比+19.1%、伸びは前月より-0.7%ポイント下落。第2 次産業は同+3.5%となり、前月から-0.7%ポイント下落。第3 次産業は同+12.1%となり、伸びは前月から-0.1%ポイント小幅下落した。

固定資産投資(2017年4月まで) (累積伸び率)

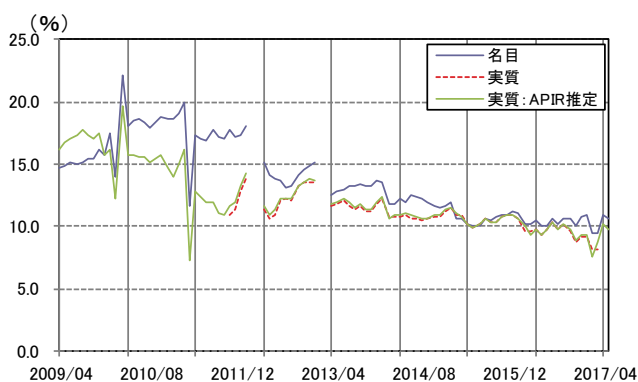


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 消費

4月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+10.7%となり、前月(同+10.9%)より伸びは-0.2%ポイント小幅下落した。

社会消費品小売総額成長率の推移(2017年4月まで)



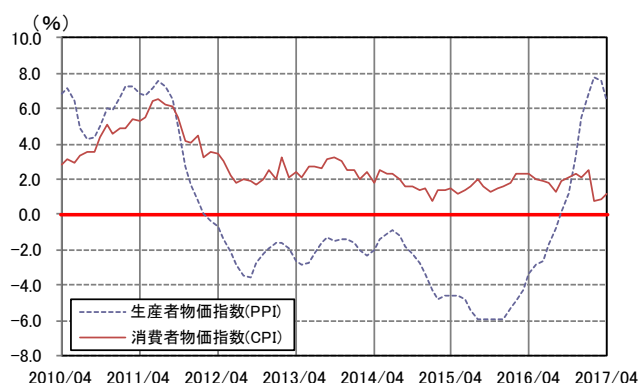
(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(6) 物価水準

4月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+1.2%上昇し、伸びは前月から+0.3%ポイントと2カ月連続で加速した。一方、生産者物価指数(PPI)は同+6.4%となり、前月より-1.2%ポイントと2カ月連続で減速した。

消費者物価指数と生産者物価指数の推移(2017年4月まで)

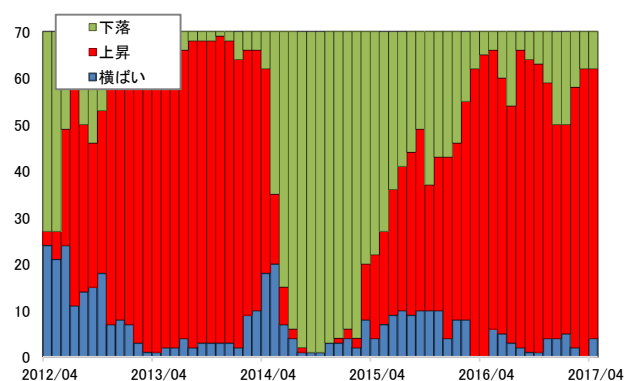


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(7) 不動産市場

4月の不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要70都市のうち、58都市で上昇がみられた。前月と比較すると、上昇した都市数が4都市減少しており、前月ほどではないものの、好調が続いている。一方、8都市で前月から下落、4都市で前月から横ばいであった。

新築住宅価格の主要都市集計(2017年4月まで:都市数)

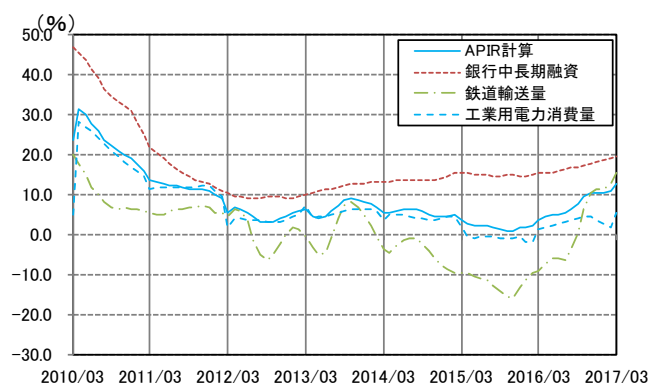


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(8) リコノミクス指数

3月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+12.9%と前月から+2.2%ポイント上昇し、2カ月連続のプラスとなった。内訳をみると、銀行中長期融資は同+19.6%となり、伸びは前月から+0.3%ポイント小幅上昇し、15カ月連続で加速している。鉄道輸送量は同+15.5%となり、伸びは前月から+2.7%ポイント上昇し、2カ月連続の加速。工業用電力消費量は同+5.5%となり、伸びは前月から+3.6%ポイント上昇し、4カ月ぶりに加速した。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2017年3月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet・生田祐介

Tel. 06-6485-7694,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	16/4M	16/5M	16/6M	16/7M	16/8M	16/9M	16/10M	16/11M	16/12M	17/1M	17/2M	17/3M	17/4M
景況概													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	41.1	42.1	40.0	46.0	45.6	44.7	47.3	52.1	54.4	50.9	50.1	48.3	47.9
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	46.2	46.7	41.1	47.0	48.4	49.4	48.7	51.0	50.0	49.8	50.6	48.6	49.7
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	40.6	41.7	41.2	43.8	46.0	46.3	48.4	51.4	51.4	49.8	48.6	47.4	48.1
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	43.7	45.4	40.5	46.9	48.6	49.4	50.3	51.3	50.9	49.4	50.6	48.1	48.8
消費者心理・小売													
[関西]消費者態度指数(原数値)	40.6	40.8	42.4	41.4	41.9	42.6	41.3	39.7	41.3	42.2	41.7	43.1	43.1
[関西]「暮らし向き(原数値)	39.7	40.0	41.0	40.5	41.1	41.9	40.3	38.0	39.5	41.4	40.2	41.4	41.2
[関西]「収入の増え方(原数値)	40.6	40.2	41.6	39.8	40.8	41.7	39.9	39.6	39.2	40.5	39.7	41.0	41.4
[関西]「雇用環境(原数値)	42.2	42.8	44.4	43.4	43.8	44.6	43.2	41.1	44.4	44.7	44.8	46.9	47.9
[関西]「耐久消費財の買い時判断(原数値)	39.9	40.1	42.6	41.7	41.9	42.1	41.7	39.9	42.1	42.3	42.2	42.9	41.8
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	40.8	41.0	41.7	41.5	42.0	42.8	42.4	41.1	43.0	43.1	43.2	43.9	43.2
[関西]大型小売店販売額(10億円)	303.1	310.6	303.9	339.6	302.8	284.2	311.0	323.8	406.5	330.9	286.6	313.8	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-0.3	-2.3	-1.5	0.5	-4.0	-4.6	-1.7	-1.0	-1.4	-0.6	-1.2	-1.4	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,545.6	1,597.8	1,567.5	1,721.0	1,554.0	1,470.5	1,596.6	1,647.9	2,067.6	1,674.3	1,44.9	163.1	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-0.1	-1.9	-0.7	0.9	-3.2	-2.7	-0.7	-0.1	-1.2	-1.0	-2.6	-0.9	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	13,050	10,682	12,681	13,028	11,580	11,435	12,346	12,257	11,079	11,409	10,639	11,795	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比)	32.9	2.6	-11.5	27.6	-7.3	-2.2	-4.1	3.2	0.5	7.8	-4.0	-0.4	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	82,398	78,728	85,953	85,208	82,242	85,622	87,707	85,051	78,406	76,491	70,912	75,887	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比)	9.0	9.8	-2.5	8.9	2.5	10.0	13.7	6.7	3.9	12.8	-2.6	0.2	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	69.3	61.8	70.4	70.8	73.8	69.1	70.9	73.7	72.7	81.2	76.5	70.9	78.3
[関西]マンション契約率(原数値)	70.0	64.5	73.3	74.6	73.8	68.1	71.8	75.4	69.2	75.1	74.5	73.3	78.2
[全国]マンション契約率(季節調整値)	66.0	71.1	67.3	60.2	68.9	73.2	64.0	61.3	79.6	63.7	67.2	64.0	66.5
[全国]マンション契約率(原数値)	66.4	70.9	69.6	63.3	66.6	72.0	61.6	62.5	76.6	61.6	68.4	66.2	66.3
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	279.6	122.7	172.9	175.1	136.4	151.7	116.3	75.4	95.8	60.9	68.1	118.1	201.8
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比)	6.2	-3.8	-13.7	30.1	32.2	18.0	-5.5	-11.7	-1.5	-5.4	-14.9	-6.2	-27.8
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	2,030.1	1,145.3	1,527.8	1,361.8	1,247.3	1,471.6	1,127.3	822.0	851.4	699.7	769.3	1,485.9	2,064.6
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比)	10.6	1.4	-1.8	-6.9	12.7	18.1	-10.0	-5.7	5.3	7.1	10.4	10.9	1.7
[関西]建設工事(総合、10億円)	450.8	450.3	474.3	490.9	524.6	544.5	568.9	584.1	587.6	579.6	570.0	545.3	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比)	-3.4	-3.1	-1.5	-0.2	5.7	6.8	7.4	6.2	3.7	4.7	3.4	4.8	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3,575.6	3,539.8	3,772.8	3,956.9	4,195.5	4,515.5	4,706.2	4,754.8	4,776.8	4,691.1	4,607.9	4,596.7	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比)	-1.5	-0.2	1.4	0.8	0.3	2.8	1.7	1.2	1.2	2.0	2.2	4.2	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,362.5	1,296.9	1,402.7	1,478.8	1,620.1	1,837.8	1,980.6	1,999.2	2,021.9	1,985.7	1,948.2	1,987.0	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比)	-5.8	-6.3	-3.6	-4.6	-5.7	-1.5	-4.2	-6.3	-6.4	-5.2	-4.2	-0.8	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	104.1	103.3	101.8	100.9	101.8	107.0	104.5	105.9	108.8	107.9	109.8	107.4	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-0.9	-0.8	-1.5	-0.9	1.1	5.1	-2.3	1.3	2.7	-0.8	1.8	-2.2	UN
[関西]「出荷指数(原数値、前年同月比)	-1.3	3.2	-1.1	-3.3	2.7	3.8	0.7	9.3	6.2	3.6	4.8	3.1	UN
[関西]「在庫指数(原数値、前年同月比)	2.6	3.9	3.5	1.3	1.9	3.4	-0.8	-6.1	-4.0	-1.9	-1.7	-1.1	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	101.8	101.2	99.7	100.7	99.7	104.2	103.5	106.3	106.0	102.6	104.8	104.7	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、前月比)	0.3	-0.6	-1.5	1.0	-0.8	4.5	-0.7	2.7	-0.3	-3.2	2.1	-0.1	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	120.2	121.9	121.7	119.6	120.6	122.0	116.8	111.1	113.1	115.7	116.6	117.9	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、前月比)	0.8	1.4	-0.2	-1.6	0.9	1.2	-4.3	-4.9	1.8	2.3	0.8	1.1	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	96.8	95.6	97.0	97.0	98.3	98.6	98.9	99.9	100.6	98.5	101.7	99.8	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.4	-1.2	1.5	0.0	1.3	0.3	0.3	1.0	0.7	-2.1	3.2	-1.9	UN
[全国]「出荷指数(原数値、前年同月比)	-3.1	-0.9	-1.6	-3.8	1.8	0.8	-1.8	5.0	2.4	4.2	3.7	3.5	UN
[全国]「在庫指数(原数値、前年同月比)	-0.5	0.3	-0.5	-2.4	-2.1	-2.7	-3.6	-5.3	-5.0	-3.9	-3.9	-4.0	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	95.4	94.7	95.7	96.0	96.2	96.8	97.9	98.9	98.9	97.8	99.2	98.4	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、前月比)	0.3	-0.7	1.1	0.3	0.2	0.6	1.1	1.0	0.0	-1.1	1.4	-0.8	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	112.6	112.8	112.4	110.5	110.5	109.9	108.5	106.6	107.3	107.4	108.1	109.7	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、前月比)	-1.4	0.2	-0.4	-1.7	0.0	-0.5	-1.3	-1.8	0.7	0.1	0.7	-9.4	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)	0.4	-0.1	1.5	-0.4	-0.4	-0.1	-0.3	-0.6	1.2	0.2	-0.1	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)	0.5	0.0	1.5	-1.1	-0.5	-0.4	-0.5	-0.3	0.6	-0.1	-0.4	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比)	0.0	-0.1	1.4	1.2	0.0	0.0	0.1	0.5	0.5	0.3	0.4	0.0	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.1	3.7	3.7	3.4	3.8	3.6	3.3	3.3	3.3	2.7	3.2	3.2	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.0	3.6	3.7	3.6	4.1	3.8	3.3	3.0	2.9	2.8	3.3	3.2	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	2.8	2.8	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	2.00	2.00	1.98	1.94	2.01	2.06	2.02	2.12	2.14	2.05	2.08	2.04	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	2.04	2.06	2.03	2.03	2.07	2.10	2.11	2.15	2.19	2.13	2.12	2.13	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.25	1.27	1.28	1.29	1.28	1.29	1.31	1.33	1.34	1.34	1.35	1.36	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.33	1.35	1.36	1.37	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	1.43	1.43	1.45	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	217.3	91.8	221.6	178.4	95.1	154.4	198.9	75.7	289.0	-193.8	356.5	223.3	175.5
[関西]輸出(10億円)	1,260.9	1,102.9	1,281.8	1,199.9	1,177.8	1,263.7	1,245.9	1,251.1	1,418.9	1,090.9	1,353.4	1,476.8	1,335.7
[関西]輸出(前年同月比)	-8.8	-12.8	-7.3	-12.7	-9.4	-8.9	-10.9	1.1	6.0	-1.7	12.8	10.4	5.9
[関西]輸入(10億円)	1,043.6	1,011.1	1,060.2	1,021.5	1,082.7	1,109.3	1,047.0	1,175.4	1,129.9	1,284.7	996.9	1,253.5	1,160.2
[関西]輸入(前年同月比)	-17.7	-12.6	-15.1	-25.2	-12.2	-11.9	-19.3	-7.2	-3.6	9.6	-6.0	12.2	11.2

注：鉱工業生産 輸送機械工業は銅船・鉄道車両除く。

Release Calendar for May/Jun

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1-May	2-May	3-May	4-May	5-May 中国製造業 PMI (4月)
8-May 消費動向調査(4月) 中国輸出入 (4月:速報値)	9-May 毎月勤労統計 (3月:速報値)	10-May 近畿貿易統計 (2月確報) 近畿貿易統計 (3月確速)	11-May 景気ウォッチャー調査 (4月)	12-May 近畿鉱工業生産指数 (3月速報)
15-May 公共工事前払保証額 統計(4月) 中国工業生産(4月) 中国固定資産投資 (4月) 中国消費小売総額 (4月) 中国不動産市場 (4月)	16-May 商業動態調査 (3月:確報値)	17-May 全国鉱工業生産指数 (3月:確報値)	18-May マンション契約率 (4月)	19-May 建設総合統計(3月)
22-May 出入国者数(3月) 全国貿易統計 (4月:速報) 近畿貿易統計 (4月速報)	23-May 毎月勤労統計 (3月:確報値)	24-May	25-May 出入国管理統計(3月)	26-May
29-May 近畿鉱工業生産指数 (3月確報)	30-May 商業動態調査 (4月:速報値) 全国貿易統計 (4月:確速)	31-Jun 求人倍率(4月) 完全失業率(4月) 新設住宅着工(4月) 全国鉱工業生産指数 (4月:速報値)	1-Jun	2-Jun 消費動向調査(5月)